

北海道

HOKKAIDO TELECOMMUNICATION FAIR

情報通信フェア2005

いつでも、どこでも、何でも、誰でも社会に参加
～ユビキタスネット社会が見えてきた!～

6月15日(水)・16日(木)

札幌プリンスホテル国際館パミール3階
札幌市中央区南3条西12丁目

ユビキタスネット社会、災害対策など最新の情報通信に関する講演会を開催し、併せて最新の情報通信関連機器の展示会を実施します!

入場無料

第1日目 6月15日(水) 13時～16時30分

情報通信フォーラム in 札幌

基調講演 「ユビキタスネットがもたらす未来の可能性」

講師：青山 友紀氏

講演 「地域社会に根ざしたユビキタスについて」

講師：廣川 聡美氏

展示会プレゼンテーション

社団法人情報通信設備協会
フットニックスサイエンステクノロジー株式会社
シスコシステムズ株式会社
有限会社ラプト

第2日目 6月16日(木) 10時30分～15時35分

地域情報化セミナー in 札幌

講演1 エンジョイ! デジタルシニアライフ

「～最先端の情報通信技術の活用で活力ある高齢社会を!～」

講師：近藤 則子氏

講演2 災害時における情報通信の活用について

「～中越地震の際のIT利活用の検証結果から～」

講師：仙石 正和氏

講演3 災害時における情報をどうする?

講師：山崎 登氏

展示会プレゼンテーション

ハイテクインター株式会社
株式会社社理経
北海道東海大学

機器展示会 6月15日(水) 12時～17時・16日(木) 10時～16時

6/15(水) 情報通信フォーラム in 札幌

- 13:00 開会
 13:05 主催者代表あいさつ 北海道総合通信局長
 13:10 基調講演「ユビキタスネットがもたらす未来の可能性」
 講師/青山 友紀氏(東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授)
 14:10 休憩
 14:20 講演「地域社会に根ざしたユビキタスについて」
 講師/廣川 聡美氏(横須賀市 企画調整部 情報政策担当部長)
 15:20 休憩
 15:30 展示会プレゼンテーション: 社団法人情報通信設備協会、フォトニックサイエンステクノロジー株式会社、
 シスコシステムズ株式会社、有限会社ラプト
 16:30 終了

6/16(木) 地域情報化セミナー in 札幌

- 10:30 開会
 10:35 主催者代表あいさつ 北海道テレコム懇談会会長
 10:40 講演1「エンジョイ! デジタルシニアライフ」～最先端の情報通信技術の活用で活力ある高齢社会を!～
 講師/近藤 則子氏(老テク研究会事務局長、早稲田大学国際情報通信研究センター客員研究員)
 11:40 休憩
 12:40 展示会プレゼンテーション: ハイテックインター株式会社、株式会社理経、北海道東海大学
 13:25 講演2「災害時における情報通信の活用について」～中越地震の際のIT利活用の検証結果から～
 講師/仙石 正和氏(新潟大学工学部長)
 14:25 休憩
 14:35 講演3「災害時における情報をどうする?」
 講師/山崎 登氏(NHK解説委員)
 15:35 終了

機器展示会

講演会場隣室において、最新の情報通信機器の展示会を開催いたします。
 お申込みは不要ですので、ご自由にご覧下さい。
 展示会の詳細は、裏表紙をご覧ください。

講師紹介

Lecturer Introduction

6/15 基調講演「ユビキタスネットがもたらす未来の可能性」

青山 友紀(あおやま ともり)氏(東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授)

プロフィール

- 1969年 東京大学大学院電気工学科修士課程修了。日本電信電話公社入社。
 電気通信研究所においてデジタル信号処理、情報通信システム、広帯域ネットワークなどの研究に従事。
 1973年 1年間、米国MITに客員研究員として滞在。
 1994年 NTT理事 光エレクトロニクス研究所所長。
 1995年 NTT理事 光ネットワークシステム研究所所長。
 1997年 東京大学に転じ、現在、同大学院情報理工学系研究科教授。工学博士。
 電子情報通信学会フェロー、同学会において編集理事、会計理事、総務理事、通信ソサイエティ会長などを歴任、現在東京支部長。
 IEEE Fellow、元IEEE ComSoc Board of Governors メンバ、元IEEE ComSoc Tokyo Chapter Chair。
 超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会会長。デジタルシネマ実験協議会会長。
 現在 特定非営利活動法人デジタルシネマコンソーシアム理事長。ユビキタスネットワークフォーラム副会長。

第9回電気通信普及財団テレコムシステム技術賞(平成6年)、平成12年度情報通信月間志田林三郎賞、
 第47回前島賞(平成13年)、電子情報通信学会論文賞(平成14年、平成16年)、同業顕賞(平成16年)、受賞。

著書 光通信工学(コロナ社)、広帯域ISDNとATM技術(電子情報通信学会)、
 (共著、監修含む) 最新ブロードバンドが「お金を生む」しくみ(青春出版)、など多数。



6/15 講演 「地域社会に根ざしたユビキタスについて」

廣川 聡美(ひろかわ さとみ)氏 (横須賀市 企画調整部 情報政策担当部長)



プロフィール

1951年 横須賀市生まれ
1975年 慶応義塾大学経済学部卒業、横須賀市役所入庁。
財政課主査、企画調整課主幹、情報政策課長等を経て、2003年から現職。

IT戦略の今後の在り方に関する専門調査会委員、総務省電子政府電子自治体推進本部有識者会議委員ほかを歴任。
地方公共団体セキュリティ対策推進支援フォーラムのメンバーとして、セキュリティ技術の研究を通じて、自治体のセキュリティ対策の推進に取り組んでいる。

著作 自治体の政策形成とその実践—横須賀市の挑戦—(ぎょうせい) など

6/16 講演1 「エンジョイ！ デジタルシニアライフ」～最先端の情報通信技術の活用で活力ある高齢社会を！～

近藤 則子(こんどう のりこ)氏 (老テク研究会事務局長、早稲田大学国際情報通信研究センター客員研究員)



プロフィール

1955年 埼玉県生まれ 49歳
1976年 米国マウントアイダカレッジ教養学部卒業後、東京原宿の情報サービス企業に入社
1985年 ユーザーの立場から情報通信サービスを研究する電子情報通信学会ICS研究会入会。
1992年 ICS研究会の分科会として老親の介護に取り組む友人と老テク研究会を創設。
1994年から 高齢者・障害者の立場でマルチメディアを考える老テクシンポジウムを開催。
シニアネット(米国)、元老坊(韓国)、コンピューメンター(米国)等、IT活用を支援する民間非営利事業を紹介。
企業や公共機関と連携しながら東京深川郵便局、仙台中央郵便局、松本市など各地のシニアネットワーク創設・運営を支援。
2001年から 米国、韓国、中国、首都圏、札幌、仙台、金沢、松本、京都、沖縄のシニアが情報発信するグローバルシニアネットイベントを企画し、WPC(2001,2002)やCEATEC(2004)ユビキタスヘルスケアフォーラム(2005)に参画。

2001年 東北総合通信局長表彰(個人)。

現在の主な役割 老テク研究会事務局長
早稲田大学国際情報通信研究センター客員研究員
「公共分野におけるアクセシビリティの確保に関する研究会(総務省情報通信政策局情報通信利用促進課)委員

主な著作物/論文 エンジョイ！ デジタルシニアライフ(情報通信ジャーナル連載中)
60歳から楽しむインターネット(電子情報通信学会ICS研究会)
在宅ケア・介護を支援する情報通信サービスの研究(日本訪問看護振興財団)

6/16 講演2 「災害時における情報通信の活用について」～中越地震の際のIT利活用の検証結果から～

仙石 正和(せんごく まさかず)氏 (新潟大学 工学部長)



プロフィール

1944年 長野県生。
1967年 新潟大・工・電気卒。
1972年 北大大学院博士課程了、工博、同年北大・工・電子助手。
1978年 新潟大・工・情報助教授を経て、現在、同教授。回路網理論、グラフ・ネットワーク理論、情報伝送特に移動体通信の研究に従事。
1995年 電子情報通信学会回路とシステム研究専門委員会委員長。
1997～98年 編集特別幹事。
1996～99年 電子情報通信学会評議員、システムと信号処理国際学術研究会委員長、多次元移動情報ネットワーク学術研究会副委員長。
電子情報通信学会通信ソサイエティ副会長。
2003年 電子情報通信学会理事、基礎境界ソサイエティ会長。

1981、1995、1996、1997年度電子情報通信学会論文賞受賞、IEEE ICNNSP '95 Best Paper Award 受賞。
1998年新潟日報文化賞、IEEE Fellow、電子情報通信学会フェロー、情報処理学会など各会員。

現在の主な役割 新潟大学工学部長、信越情報通信懇談会運営委員長
大震災における情報通信のあり方に関する検討会(～中越地震を教訓に災害時の円滑な情報流通を確保するために～)座長

著書など "Wireless Networks"(ACM, URSI) 編集委員など。
著書「演習グラフ理論」、「情報処理ハンドブック」(共著)等

6/16 講演3 「災害時における情報をどうする？」

山崎 登(やまざき のぼる)氏 (NHK解説委員)



プロフィール

1954年 長野県大町市生まれ
1976年 NHK入局 盛岡局・佐賀局・長野局で勤務
1988年 東京の報道局社会部の災害班に所属して、伊東沖海底噴火、イラン地震などを取材
1991年から 「特報首都圏」キャスター
1994年から 名古屋局で「ウィークエンド中部」キャスターを担当
1995年 阪神大震災を取材
1998年 報道局社会部で災害班デスク
台湾地震(1999年)などを取材

2000年 NHK解説委員(自然災害・防災担当)
その後、有珠山噴火、三宅島噴火、東海水害(2000年)、歌舞伎町の雑居ビル火災(2001年)、韓国地下鉄火災(2002年)、十勝沖地震(2003年)、新潟・福井豪雨災害・新潟県中部地震(2004年)などを取材

展示会の御案内 *Guide of Exhibition*

開催日時 6月15日(水)12時から17時及び16日(木)10時から16時 開催場所 講演会場隣室

出展団体名	出展の概要
エイコウ電子(株)、(株)理経、 (株)ディーアンドエムホールディングス	5GHz帯高速長距離伝送FWAシステム、2.4GHz帯画像伝送装置
NECソフトウェア北海道	RFIDを利用した資産管理ソリューション
(株)エヌ・ティ・ティ エムイー北海道	戸建住宅用先行配線システム(ホームLAN)、光ケーブル監視システム
(株)NTTドコモ北海道	モバイルによる防災システム、ユビキタスネットワークシステム等
(株)NTTメディアクロス	テレビ放送と携帯ネットワークの連動による連携情報配信モデル
KDDI(株)	最新機種・着うたフル及びモバイルソリューションのデモ実演
シスコシステムズ(株)	Web、ビデオ、IPフォンを統合するCiscoリッチメディアコミュニケーション
(社)情報通信設備協会北海道地方本部	ITCA-IP Phone、IP電話によるビデオオンデマンド(VOD)等
住友電気工業(株)北海道支店	光ファイバケーブル及び関連製品
日本放送協会札幌放送局	地上デジタル放送の映像・音声の魅力の紹介等
日本無線(株)北海道支店	FWA及び無線LANを使用した画像伝送
ハイテクインター(株)	マルチホーミング製品、長距離用最新DSL製品、産業用最新DSL製品
東日本電信電話(株)北海道支店	ブロードバンド回線を活用したシステムの紹介 (介護予防システム、食の安全に係わるソリューション、酪農乳製品トレーサビリティシステム、栽培管理システム等)
(株)日立製作所北海道支社	指静脈で認証する認証システム
フォトニックサイエンステクノロジー(株)	加入者用光通信の低価格に向けたポリマー光導波路部品等
富士通(株)北海道営業本部	RFIDタグ関連システム等
北海道総合通信局、東日本電信電話(株)北海道支店、 (株)NTTドコモ北海道	災害伝言ダイヤル「171」サービスの利用体験等
北海道東海大学	三次元海底地図作成システムの研究開発
(有)ラプト	ウェブアクセシビリティ、ネットブートシステム、モバイルフォトウェブ等

会場案内 *Guide in Hall*

札幌プリンスホテル国際館バミール3階
札幌市中央区南3条西12丁目
TEL. 011-241-1111

札幌市営地下鉄東西線西11丁目駅から徒歩2分
札幌駅からタクシーで5分(約¥900)



後援：北海道、北海道経済連合会、北海道商工会議所、株式会社北海道新聞社、社団法人情報通信設備協会北海道地方本部、北海道地方非常通信協議会
 協賛：財団法人電気通信普及財団
 出展協力：エイコウ電子(株)、(株)エヌ・ティ・ティ エムイー北海道、(株)NTTドコモ北海道、(株)NTTメディアクロス、KDDI(株)、シスコシステムズ(株)、(社)情報通信設備協会北海道地方本部、住友電気工業(株)北海道支店、(株)ディーアンドエムホールディングス、日本放送協会札幌放送局、日本無線(株)北海道支店、ハイテクインター(株)、東日本電信電話(株)北海道支店、(株)日立製作所北海道支社、フォトニックサイエンステクノロジー(株)、富士通(株)北海道営業本部、北海道総合通信局、北海道東海大学、NECソフトウェア北海道、(有)ラプト、(株)理経
 お問合せ：北海道総合通信局情報通信部情報通信振興課 札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎
 TEL. 011-709-2311 (内線4715) FAX. 011-709-2482

定 員 : 250名 (入場無料)

申込締切 : 6月9日 (木) まで

※定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。
※聴講券の発行はいたしませんので、直接御来場願います。

参加を希望される方は、以下の申込書に必要事項を御記入の上、FAXで送信していただくか、同内容を記した電子メールにてお申し込み下さい。

申込先FAX番号: 011-709-2482
申込先電子メールアドレス: fukyuu-hokkaido@rbt.soumu.go.jp

北海道総合通信局 情報通信振興課 行

北海道情報通信フェア2005 講演会 参加申込書

「北海道情報通信フェア2005」講演会に参加します。

団体名・所属・役職	お名前	参加を希望する講演
団体名・所属・役職	お名前	6月15日(水) <input type="checkbox"/> 基調講演 <input type="checkbox"/> 講演 6月16日(木) <input type="checkbox"/> 講演1 <input type="checkbox"/> 講演2 <input type="checkbox"/> 講演3
団体名・所属・役職	お名前	6月15日(水) <input type="checkbox"/> 基調講演 <input type="checkbox"/> 講演 6月16日(木) <input type="checkbox"/> 講演1 <input type="checkbox"/> 講演2 <input type="checkbox"/> 講演3
団体名・所属・役職	お名前	6月15日(水) <input type="checkbox"/> 基調講演 <input type="checkbox"/> 講演 6月16日(木) <input type="checkbox"/> 講演1 <input type="checkbox"/> 講演2 <input type="checkbox"/> 講演3
連絡先	電話 E-mail	FAX 担当者のお名前
備 考		

注1 参加を希望する講演にチェックをお願いいたします。

注2 参加に当たって御要望等ございましたら備考欄に記入願います。

注3 用紙に書ききれない場合は、「北海道情報通信フェア2005講演会参加希望」と明記し、適宜の用紙に必要事項を記載の上、送付願います。
御不明な点等ありましたらお気軽に情報通信振興課(011-709-2311(内線4715))までお問い合わせください。

【個人情報の取扱いについて】

ご提出いただいた個人情報は重要なものと認識し、その取り扱いにつきましては以下のとおり細心の注意を払います。

1) 利用目的

- (1) 申込まれた方の人数把握及び会場受付での御本人様の確認のため。
- (2) 申込者多数の場合の先着に漏れた方への連絡のため。
- (3) 自然災害等による講演中止のお知らせ等こちらから申込まれた方への連絡を行うため。

2) ご提出いただいた個人情報の扱い

ご提出いただいた個人情報は、申込まれた方の同意又は法令等に基づくものでない限り、いかなる第三者にも提供または開示いたしません。

3) ご提出いただいた個人情報の管理

ご提出いただいた個人情報は、適切・慎重に管理し、不正アクセス、紛失、改ざん、漏洩等の危険防止のため、技術及び管理の面から適切かつ合理的な保護措置を行います。